

(令和6年度) 指定管理業務に関する第三者評価結果

令和8年3月26日

施設名称	交野市立ボランティアセンター
指定管理者名	社会福祉法人交野市社会福祉協議会
施設所管課	福祉部福祉総務課
評価者	交野市指定管理者評価委員会

1. 指定管理者の自己評価に対する意見等

自己評価は市の評価と大きな乖離はなく、概ね客観性を確保した内容となっている。市条例に基づいた運営が行われており、ボランティア活動支援の基盤的業務は適切に実施されていると認められる。

一方で、総合評価はC評価であり、「概ね適正」とする評価にとどまっていることから、利用者サービス向上に向けた積極的な取組がやや不足しているとの意見があった。今後は、市とのコミュニケーションを一層密にし、改善可能な事項については主体的に見直しを行い、来所者への配慮をさらに高めていくことが望まれる。

2. 市（施設所管課）の評価に対する意見等

市の総合評価はC評価であり、指定管理者の自己評価と整合している。ボランティア啓発、福祉活動の推進、人材育成への寄与といった施設の目的に沿った取組は評価できる。また、ボランティア保険の継続や高齢者への配慮など、基本的な対応は適切に行われている。

一方で、活動成果が定量的に把握しづらい施設特性があることから、特にソフト事業に関する評価指標の在り方については、今後検討の余地があるとの意見があった。また、施設の老朽化に伴う不具合への対応や、財務状況の確認方法についても、組織の継続性の観点からより実効性のある確認が求められる。

3. 改善に向けての指摘・提言等

既存ニーズへの対応は一定程度行われているが、新たなニーズの掘り起こしについては課題が残る。特に学生や若年層ボランティアとの接点づくりなど、新規参加層の開拓に向けた取組を強化されたい。

また、市民にとって「何ができる施設であるか」が十分に伝わっていない面もあることから、広報活動の充実や情報発信の工夫を図ることが望ましい。あわせて、利用者アンケートの実施等によりニーズを把握し、事業改善につなげる仕組みの構築が求められる。

施設面では、老朽化による不具合への計画的対応や定期的な自主点検を徹底し、安全・安心な利用環境の確保に努められたい。

さらに、指定管理事業の安定的継続の観点から、毎年度の財務諸表確認を含めた財務状況の把握を適切に行い、市と指定管理者が継続的に協議しながら、持続可能な運営体制の構築を図ることが望まれる。